

Comment Sheet

Name	アンドレドブール
Title	事務局長
Organization	欧州木材貿易連盟(ETTF)
Country	オランダ

組織の概要

ETTF は 60 年代前半に設立し、11 カ国の木材貿易協会をまとめる連合体である。会員の利害の保護のため、ロビーや会員へのアドバイスを主な活動としている。

ETTF の目的：

- 欧州連合やその他の欧州内外の機関や団体との交渉における木材貿易の利害を代表する。
- 専門的、経済、環境や財政などの課題に取り組み、木材消費を支援する。

ETTF の使命：

- 木材を持続可能な選択とする
- 森林破壊や、ガバナンス、気候変動などの国際的な取組の支援
- 行動規範の実施

違法伐採問題に対する団体の基本方針及びその活動

ETTF の行動規範はメンバーに違法な行為に関与しないことを義務付けしている。

現時点では多くの時間を、来年 3 月 3 日から施行される欧州木材規則の (EUTR) の準備に当てている。

トピック 1 違法伐採問題に対する日本の取組の全般的評価

ETTF では日本の業界団体の認定により多くの事業者が合法性証明に参画している取組について、特に以下の点で好意的に受け止めている

- 国境の中と外の間を差別しない均等な機会を創出
- 違法伐採のおそれのある材を排除する可能性があり、木材フローの多様化を抑止

トピック 2 Goho-wood を背景とする違法伐採問題に対応する業界団体の活動の可能性

ETTF は違法材を市場に入れることを禁止する事項を含め EUTR の実施を支援した。ETTF は FLEGT 及び VPA の締結も支持している。

ETTF のメンバーは全ての違法行為を禁止するための行動規範に拘束されている。EUTR の枠組みの中で、ETTF はデューデリジェンス手順を作成しているところで、最近では国際木材貿易フォーラム (ITTF) を立ち上げた。ITTF は生産者団体と輸入業者団体とを繋ぎ、違法材の禁止などの取組を含めた情報交換の場を提供することを目的としている。同時に ITTF のメンバーは EUTR、レイシー法、オーストラリア法などの違法性に関わる法律や規制が同じ原則に基づくように手配してみる予定である。

ETTF は持続可能でなければ最低限合法的な木材の使用を公共調達に推進する。